

「2025青年交流の翼・中国寧夏プログラム」

1 概要

島根県は、令和7年8月4日から11日まで、2025 青年交流の翼・中国寧夏プログラムとして中国寧夏回族自治区が開催する「2025 寧夏国際青年友好キャンプ」に島根県青年10名を派遣しました。

このプログラムで島根県の青年を中国寧夏回族自治区に派遣するのは6年ぶりです。プログラムには島根県の青年だけでなく、中国、韓国、モンゴル、ウズベキスタン、キルギスタン、スリランカ、ジョージア、ドイツの青年総勢80名が参加する国際色豊かな青年交流イベントでした。

寧夏国際青年友好キャンプは、これまで20回にわたり開催され、今までに約1500人が参加しています。国境・言語・文化を越えて若者同士が心を通わせ、友情を深める貴重な国際交流の場となっており、島根県の青年達も各国の青年と交流を通じて友情を深めました。



2 プログラムの内容

【8月6日】初日

8月6日、プログラムの初日の行事として青年達は開会セレモニーに参加しました。

寧夏博物館で開かれた開会セレモニーで、各国の青年達は「2025 寧夏国際青年友好キャンプ青年友好イニシアチブ」に共同署名し、世界平和の維持、交流と相互理解の深化、友好の精神の継承に向けて若き声を発しました。



開会セレモニー

中国の無形文化遺産を体験するため、青年たちは銀川市無形文化遺産展示センターで集まりました。影絵、書道、切り紙などの伝統芸術について伝承者から説明を受け、実演を鑑賞し、自ら作品づくりに挑戦することで、中国伝統文化の歴史と魅力を実感しました。



みなさん切り紙に集中！



文化体験のあと、青年たちは閲海湖畔にて健歩ランニングのイベントに参加し、「住みよい湖のまち」を実感しました。



チーム対抗でウォーキングのはずが青年達は交流に夢中。

【8月7日】二日目

ホームステイを体験しました。島根県の青年達は寧夏回族自治区の一般家庭を訪問し、寧夏回族自治区の人たちとの生活を感じました。伝統料理をふるまってもらう等、様々なおもてなしを受け、現地の人の温かさを感じる素晴らしい経験をしました。

参加した青年達のもっとも思い出に残った体験でした。



ホストファミリーと一緒に世界遺産「西夏陵」へ見学

【8月8日－9日】三日目と四日目

8日からの現地見学では、寧夏回族自治区の環境保全、農村振興、科学技術などを学び、中国の現代化の様子を体験しました。

～寧夏科学技術館～



中国の最先端技術の体験。

～クコの実博物館～

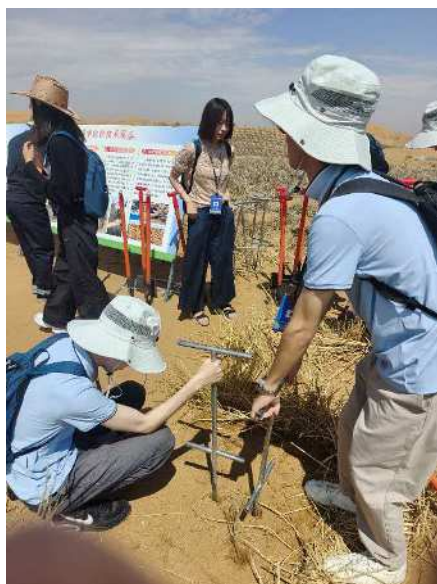


寧夏回族自治区の特産品「クコの実」を試食しました。

～沙坡頭自然保護区～



空中施設から眺める砂漠のパノラマ



砂漠の緑化の取り組み「草格子」造りに挑戦！



砂漠を見学したあとには寧夏回族自治区の伝統的農村を訪問。アイスやスイカを楽しみました！

沙坡頭リゾートの砂漠キャンプ場での交流会では、各国の青年が民族衣装をまとい、歌や踊りを披露し、手を取り合いながら焚火を囲み、国境を越えた友情の輪が広がりました。



島根青年は、二人羽織と盆踊りを披露、大興奮！



寧夏回族自治区には雄大な自然が広がっていました。

9日の夜の閉会式では、多くの青年代表が活動への感想と今後への希望を語り、「友情の伝承者、文明の架け橋、共に歩む仲間として、美しい未来を共に築こう」と誓いました。参加した青年達で食卓を囲み、最後の交流をすると共にこれからも続く友情を確かめました。



閉会式では終了証書をもらいました！

参加した青年は、世界の青年達とかけがえのない友情をはぐくみ
素晴らしい夏の思い出を作りました！

